

# 大垣 ～2018～

## 未来のロボット技術を体感！

市制100周年記念事業として、5月には「ロボカップジャパンオープン2018おおがき」を、10月には「おおがき未来フェスティバル」を、ソフトピアジャパンエリア一帯で開催しました。



ロボカップジャパンオープンでは、県内で初めての開催となる、自分で考えて動く自律移動型ロボットの競技大会が行われ、国内外から研究者が集結。次世代を担う子どもたちを対象としたジュニアの大会も開かれました。

また、未来フェスティバルでは、日本初となる3D×3Dプロジェクションマッピングの上映や、巨大ロボットのカブトムシや恐竜も登場するなど、最先端技術に楽しく触れることができるイベントが満載で、市内外から多くの来場者でにぎわい、子どもから大人までが大いに楽しみました。

## 新市庁舎 完成に向けた取り組み



防災拠点の機能を備え、新たなランドマークとして建設中の市役所新庁舎。2020年の完成に向けて、設置するシンボルモニュメント候補作品の市民アンケートを実施したほか、ロボットを活用した市民サービスの実証実験や、建設現場の見学会も行っていく予定です。

## 中小企業を支援！ ガキビズがオープン

産業界が主体となって「大垣地域経済戦略推進協議会」を設立し、この協議会の産業支援施策として、全国初となるCSR型（企業の社会貢献活動）のビズモデル無料経営相談所「大垣ビジネスサポートセンター（ガキビズ）」が、情報工房2階にオープンしました。

相談者の悩みを聞き、強みを見つけて、具体的なアイデアの提案を行うことで、企業の売上げアップにつなげ、地域経済の活性化に努めています。



## 3都市4城サミットで連携

今年新たな取り組みとしてスタートした「3都市4城サミット」には、郡上市・尼崎市・大垣市が参加しました。これは、国宝当時の大垣城を模して再建されるとされる郡上八幡城と、大垣藩十万石初代藩主の戸田氏鉄公が築城した尼崎城、そうした相互に関わりの深い2市とともに、お城を生かした観光まちづくりを進めようとしたものです。

3市の連携協定では、協働で事業を実施し、観光振興と地域活性化を目指すことを確認したほか、シンポジウムやトークセッションなども開催して、お城の魅力やにぎわいづくりについてお互いに紹介しました。



## 今年から養老線は 公有民営方式へ

養老線は今年から、沿線市町でつくる一般社団法人養老線管理機構が、駅や線路、車両などの施設を保有・維持管理し、養老鉄道㈱が運行を行う公有民営方式に移行しました。



今後も、養老線の輸送維持のため、新たな車両を導入するほか、さまざまな利用促進策を事業者と連携して行っていきます。

- 7月 ◆消防操法大会(1日) ◆ガキビズ開所式(4日) ◆おおがきの歌合唱のつどい(7日) ◆もんでこかみいしづ(21日) ◆すのまた天王祭(22日) ◆水の都大相撲大垣場所(29日)=写真=



- 8月 ◆水都まつり(2～5日) ◆水都っ子ウィーク(2日～) ◆大西卓哉宇宙飛行士講演会(3日) ◆東京オリンピック・パラリンピック応援アスリート認定式(7日) ◆吉田佳純さんにスイトピア章贈呈(7日) ◆市民病院バックヤードツアー(18日) ◆総合防災訓練(26日)

- 9月 ◆全国アニメサミットinおおがき(1・2日) ◆第3回市議会定例会(3日～) ◆奥の細道むすびの地記念館入館者150万人達成記念セレモニー(15日) ◆子育て世代包括支援センター開設式(25日) ◆消防組合北消防署赤坂分署竣工式(25日)=写真= ◆守屋多々志美術館市制100周年記念特別展(29日～)



- 10月 ◆市制100周年記念式典(6日) ◆水の都おおがきたらい舟(6日～) ◆十万石まつり・おおがき大パレード(7日) ◆

- 大垣祭軸特別曳揃え(14日) ◆すのまた秀吉出世まつり(14日) ◆おおがき未来フェスティバル(20・21日) ◆市民の健康広場(21日) ◆芭蕉蛤塚忌全国俳句大会(21日)

- 11月 ◆市教育功労者表彰式(1日) ◆中山道赤坂宿まつり(4日) ◆おむすび博・おおがきクリエイターズパーク(4日) ◆三代健康ウォーキング大会(11日) ◆かがやきライフタウン大垣「秋のつどい」(17・18日) ◆西美濃まるごとバザール(17・18日)

- 12月 ◆城下町大垣イルミネーション(1日～) ◆第4回市議会定例会(3日～) ◆おおがきマラソン2018(16日) ◆大垣第九演奏会(16日)